科目名	数量的処理Ｂ（判断推理）　Quantative Processing B: Judgment Reasoning						
科目担当者	齊藤 芳一　SAITO Yoshikazu						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　総合講座］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　総合講座］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	判断推理は、公務員試験独特の科目ですが、その内容は企業の就職試験で多く採用されている SPI3 等の「推論の問題」と重なるものが多数あります。問題が比較的長めの文章で与えられ、その中にある条件を図表などに整理して情報をまとめ、判断力、推理力を駆使して正答を導き出す力が求められます。この講座では、どのような問題にも対応できる論理的な思考力と、時間内に効率よく処理できる能力が身につくように、公務員試験の良質な過去問の演習を通して、解法のパターンやテクニックについて学習します。						
授業の到達目標	①問題の解法のパターンやテクニックを理解し、使いこなすことができる。 ②問題文から情報を整理し、場合分けなどして結論を導く論理的思考力を身につける。 ③時間内で問題を解決する処理能力を身につける。						

授業計画・内容		
	1	オリエンテーション、暗号の解読
	2	暗号の解読、集合と要素の数、命題の真偽
	3	対応関係、順序関係
	4	順序関係、試合の勝ち負け
	5	試合の勝ち負け、発言の真偽
	6	操作の方法、数量の関係
	7	数量の関係、経路と距離
	8	方位と方角、小テスト 1
	9	相互の位置関係、図形の切断と構成
	10	図形の切断と構成、折り紙と模様
	11	点の移動と軌跡、図形のつながり
	12	立体の組立て、展開図とその応用
	13	展開図とその応用、投影図とその応用
	14	立体の回転と切断、小テスト 2
	15	立体の回転と切断、補足

授業外学修 (事前学修)	必ず予習をして授業に臨んでください。しっかり自分で考え、解ける問題と解けない問題を明確にしておきましょう。（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	演習が大切ですので、課題や小テストにしっかり取り組んでください。 出された課題は自分の力で解いて、次の授業開始前までに送信（提出）してください。 （毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	60%	①、②、③
	課題の提出	30%	①、②、③
	小テスト	10%	①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	資格試験研究会編『公務員試験［高卒程度・社会人］初級スーパー過去問ゼミ　判断推理』実務教育出版
参考文献	なし
その他	数量的処理Ａ（基礎数学）の履修後に履修することが望ましい。